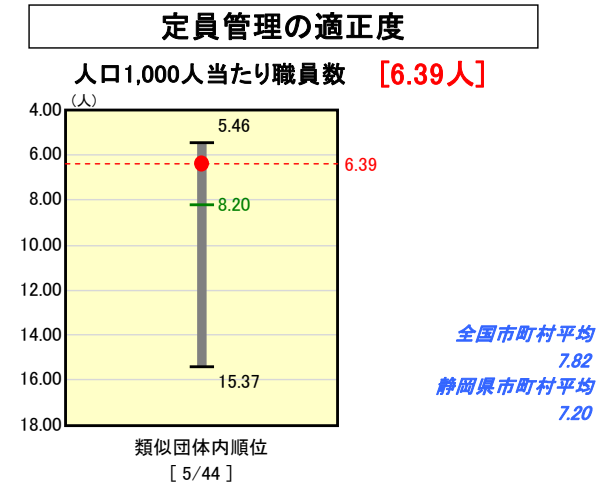
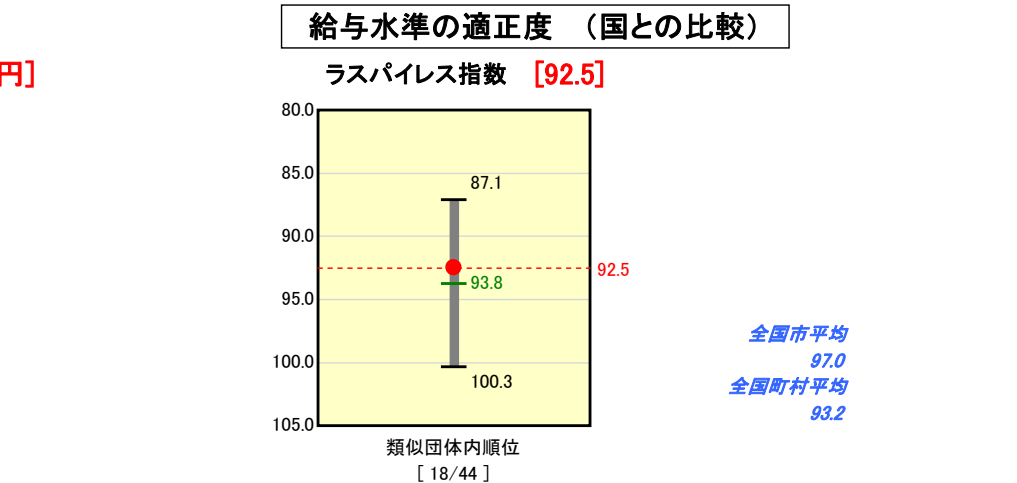
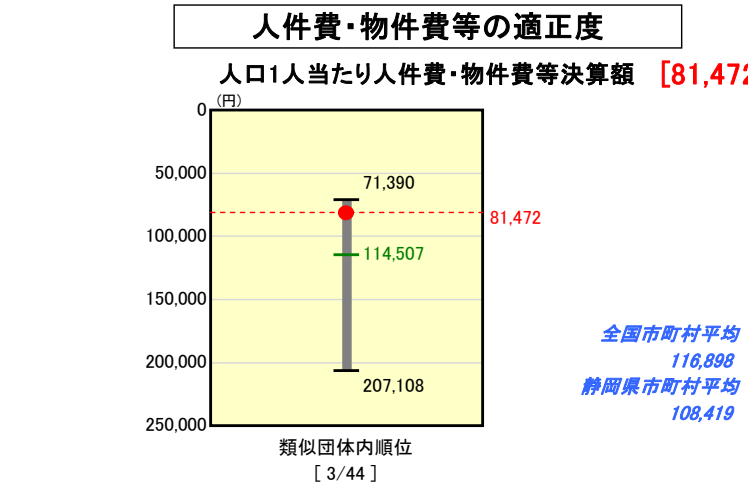
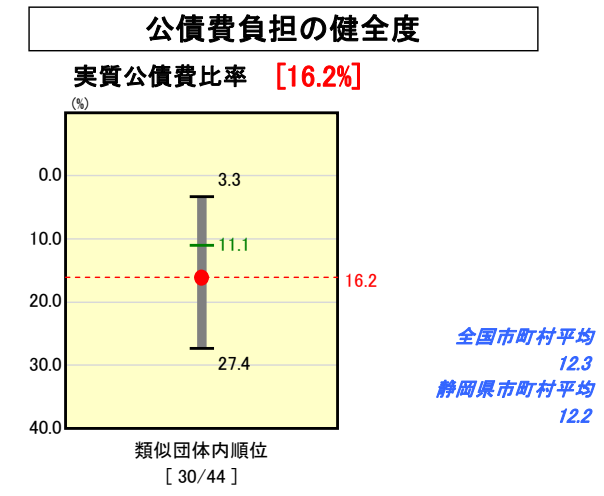
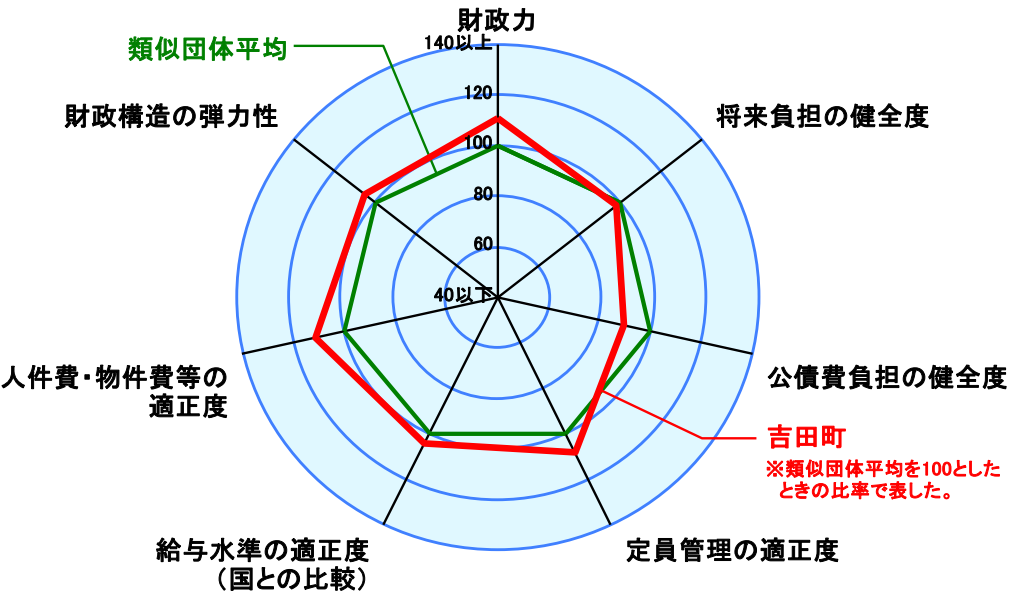
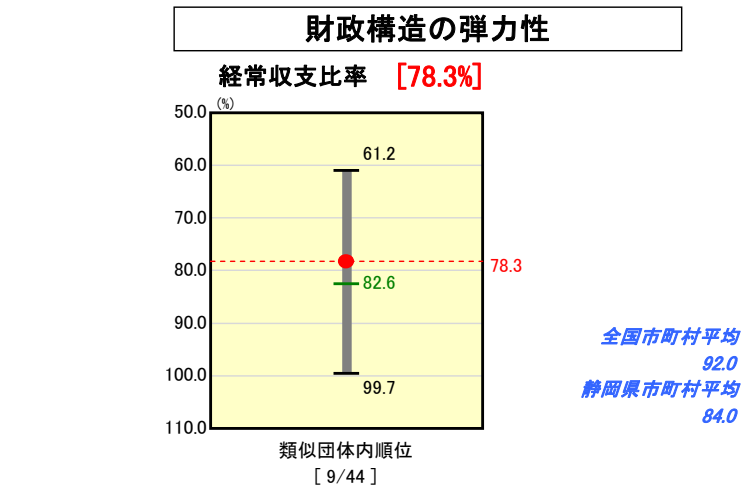
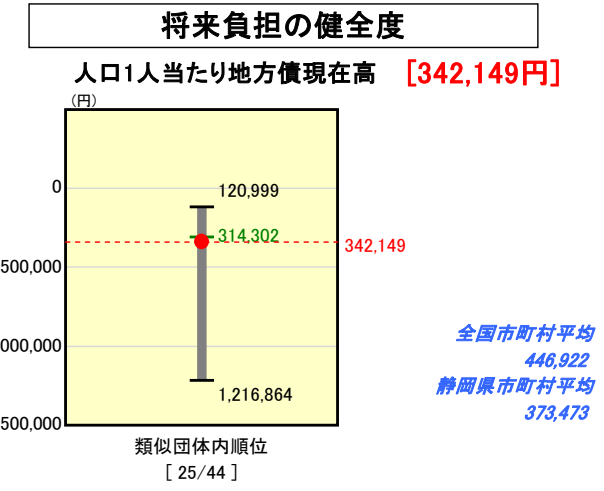
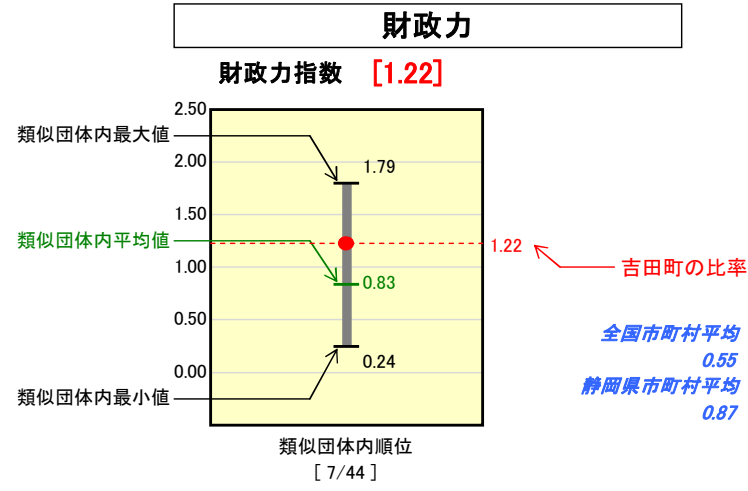


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

静岡県 吉田町

人口	28,964 人(H20.3.31現在)
面積	20.84 km ²
歳入総額	9,264,501 千円
歳出総額	8,539,881 千円
実質収支	564,070 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
町内に所在する大型事業などの税収に支えられ、類似団体の平均を上回る財政力指数となっている。しかし、今後は長引く景気低迷による法人関係の減収などが見込まれており、経常経費を厳しく抑制しつつ、限られた財源の中で最大限の効果が発揮できるような財政運営に取り組む。

経常収支比率
類似団体平均より下回っているが、扶助費、補助費の増加により、昨年度と比較して、2.0ポイント上昇した。今後は行政改革への取組を通じて、経常経費の削減や財源確保に努めるとともに、事務の効率化などにより、現在の水準を維持する。

ラスパイルズ指数
類似団体平均に比べ下回っている要因の一つである中間管理職の給与の適正化を図るほか、人事評価制度の導入により、適正な給与が反映できるよう改善を図っていく。

実質公債費比率
今年度から算定方法の変更により、都市計画税の充当可能額が特定財源に算入されたことで、公債費充当一般財源等額(分子)が減額になったことや、標準財政規模(分母)の増額により、前年度と比較して、4.9ポイント減の16.2%となり、地方債同意等基準の範囲内となった。しかし、従来からの道路、公園等の社会資本整備に加え、公共下水道整備の推進などを、地方債に依存した結果、類似団体平均を上回っている。今後は、地方債に大きく頼ることのない財政運営や税収の確保に努める。

人口1人当たり地方債現在高
平成18年度からは、地方債の発行額を大幅に抑制していることや、繰上償還の実施により地方債現在高は年々減少している。今後も引き続き、地方債発行総額をその年度の元金償還金を下回る額にするなど、新規発行債を抑制し、財政の健全化に努める。

人口1,000人当たりの職員数
平成19年11月30日に、総人口3万人を超えたことに見られるように、人口は、依然増加している一方で、職員の定員を削減しているため、昨年度よりも当該職員数は少なくなっている。今後は、職員の年齢構成に考慮しながら、長期的な展望に基づき、計画的な採用を行っていく。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均と比較して、人件費・物件費等の適正度が低くなっている要因として、ごみ処理業務、し尿処理業務、消防業務、学校給食業務などを一部事務組合で行っていることが挙げられる。しかし、一部事務組合負担金を含む補助費等については、類似団体平均を大幅に上回っているため、今後は、一部事務組合も含めた経費について抑制していく必要がある。